

第5学年 社会科学習指導案

「海運と船と港の役割」を活用した授業

指導者 齋藤 徹也

1 単元名 工業生産とわたしたちの暮らし「日本の工業の特色」

2 単元目標

- 我が国の各種の工業生産について、さまざまな工業製品が暮らしを支えていることや、我が国の主な工業地域の分布、工業生産を支える貿易や運輸などの働きについて取り上げ、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。  
(理解に関する目標)
- 日本の工業の特色や、工業を支える運輸や貿易の働きについて理解できるようにするとともに、そのことによって、国民生活の維持と向上が図られていることに関心をもつことができるようにする。  
(態度に関する目標)
- 暮らしのなかで使われている工業製品を調査・分類し、工業生産の様子や工業地域の分布、貿易や運輸の働きなどを、地図や統計などの各種の基礎的資料を活用することで、それらが国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。  
(能力に関する目標)

3 単元の評価基準

社会的事象への関心・意欲・態度	我が国の各種の工業生産の様子と特色、働く人々、工業を支える運輸や貿易について関心をもち、意欲的に調べることを通して、国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとしている。
社会的な思考・判断・表現	我が国の工業生産の様子と特色、働く人々、工業を支える運輸や貿易の働きについて学習問題や予想、学習計画を考え表現し、調べたことをもとに、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。
観察・資料活用の技能	我が国の各種の工業生産の様子や工業地域の分布、工業生産を支える貿易や運輸の働きなどを、地図や統計などの各種の基礎的資料を活用して具体的に調べ、調べた過程や結果をノートや作品にまとめている。
社会的事象についての知識・理解	さまざまな工業製品が国民生活を支えていること、我が国の各種の工業生産の様子や工業地域の分布、工業生産を支える貿易や運輸の働きを理解している。

## 4 指導上の留意点

### ○ 単元について

本単元では、学習指導要領の内容(3)を扱う。我が国の工業生産について学習する際に、調べる具体的な対象として、ア「様々な工業製品が国民生活を支えていること」、イ「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布」、ウ「工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き」の三つの内容が設定されている。

大単元の導入では、我が国の工業生産について、身のまわりの工業製品について話し合い、日本の工業に関心をもつことができるようにする。

小単元「1自動車工業のさかんな地域」では、自動車工場の見学を取り入れ、生産の仕組みや関連工場との結びつき、外国とのつながり、安全や環境に配慮した新しい製品の開発を調べ、工業生産に従事している人々の工夫や努力について考える展開としている。

小単元「2日本の工業の特色」では、工業がさかんな地域について、地図や各種の資料を活用して工業生産や工業地域の分布、工業を支える貿易や運輸の働き、工業生産に従事している人々の現状について調べ、我が国の工業の特色や工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて考える展開としている。

倉敷市は、水島港、水島コンビナートを有し、自動車工場をはじめ、製鉄所や製油所、コンテナターミナルなど学習の対象となる工場が多く集まっている地域である。自動車工場や製鉄所は、見学体制が整っており、見学を通して、工場の様子を具体的に捉えることができる。また、校区の近くに高速道路や鉄道が通っていることもあり、コンテナターミナルから運ばれるコンテナが、トラックや貨物列車に載せられ運ばれている様子もよく目にすることができる。このような地域的特徴を生かし、水島港、水島コンビナートを通して、日本の工業の特色を捉えていくことができると考える。

### ● 副教材の取り扱い

- ・水島コンビナート理解促進教材動画「すごいね！水島コンビナート」

水島コンビナートは、国内有数のコンビナートとして、倉敷市の経済・産業の中心を担っており、その出荷額は自然体の9割以上を占めている。しかしながら、倉敷市において、その役割と製造の実際については十分知られていない。そこで、本単元で扱う教材動画を通しての水島コンビナートへの理解が深まることを期待している。

- ・「海運と船と港の役割」（日本海事広報協会）

私たちの生活や産業は、船で貨物を運ぶ海運、その船を造る造船、貨物を船と陸との間で積み降ろしする港湾運送などの海事産業によって支えられている。しかし、海事産業が、私たちの生活や産業を支えていることについては、児童の理解は十分とは言えない。そこで、副教材を通して、児童が海事産業の大切さを理解し、身近に感じることで、その理解を深まることを期待している。

## 5 単元構想

過程	時間	学習活動	捉える内容	児童の意識の流れ	評価
問題をつかむ	1	工場の集まる地域について調べ、学習問題をつかむ。	<p><b>工業がさかんな地域は、どんな様子なのだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場が多く集まり、工業がさかんなところを、工業地帯・工業地域と呼ぶ。</li> <li>海沿いに工場が多く、海から離れたところの工場は高速道路の近くに集まっている。</li> <li>工業がさかんな地域では、海沿いや高速道路の近くなど、広い範囲で様々な工業が行われている。</li> </ul> <p><b>日本の工業には、どのような特色があるのだろう。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちがくらす地域には、多くの工場が集まっている。</li> <li>どうしてこんなにも工場がたくさんあるのだろう。</li> </ul>	<p>地図や統計資料等を調べ、工業の広がりについて話し合うことで、学習問題を考えている。</p> <p>【思・判・表】</p>
問題を解決する	2	日本の工業のさかんな地域について調べ、話し合う。	<p><b>工業地帯や工業地域は、どこにあるのだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業地帯・地域の多くは、太平洋ベルトと呼ばれる海沿いの地域に集まり、その生産額は、日本全体の大半を占めている。</li> <li>海沿いに大きな工業地帯・地域が広がっているが、内陸部にも工場が広がっている。</li> <li>太平洋ベルトには、働く人や工業製品を利用する多くの人が集まっている。</li> <li>太平洋ベルトと呼ばれる海沿いの地域に多くの工場が集まり、生産額も高い。交通網の発達により、内陸部にも工場が増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海沿いにたくさんの工場が集まっている。</li> <li>船を利用して原料や製品を運んでいるのではないか。</li> <li>海沿いではないところにも工場が広がっている。</li> <li>どんな工場が多く集まっているのだろう。</li> </ul>	<p>日本の主な工業地帯や工業地域が太平洋ベルトに集中していることから、その理由を地形や交通、人口などとの関わりから考えている。</p> <p>【思・判・表】</p>
	3	中小工場を調べ、大工場との違いを話し合う。	<p><b>大工場と中小工場には、どんなちがいがあろうの</b></p> <p><b>らう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の工場のほとんどが中小工場で、働く人の数も多いが、一人当たりの生産額は、大工場の方が多い。</li> <li>中小工場は、独自の技術をもった工場が多く、他の中小工場と協力して製品をつくり、大工場におさめている。</li> <li>中小工場で作った製品は、大工場におさめられているため、大工場の注文によって、大きな影響を受けやすい。</li> <li>大工場と中小工場は、それぞれの特色を生かして、工業生産を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小工場は工場の数も働く人の数も多いが、大工場の方が生産額が高い。</li> <li>中小工場は、独自の技術を持ち、他の工場と協力している。</li> <li>中小工場では、どんな製品がつけられているのだろう。</li> </ul>	<p>大工場と中小工場の違いや中小工場の様子をグラフや写真から読み取っている。</p> <p>【観・技】</p>
	4	中小工場働く人々の様子について調べ、品質の高い製品をつくる工夫や努力について話し合う。	<p><b>中小工場のもっている技術とは、どのようなもの</b></p> <p><b>だろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中小工場は、専門分野での高い技術をもち、他の中小工場と協力して品質の高い製品をつくらしている。</li> <li>いくつかの中小工場では、工程を分担して製品をつくるため、効率よく生産することができる。</li> <li>中小工場働く人たちの工夫や努力、高い技術が日本の工業を支えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小工場は、高い技術を持ち、工場どうしで協力し、品質の高い製品をつくる工夫や努力をしている。</li> <li>水島の工場ではどのような工業が行われているのだろう。</li> </ul>	<p>中小工場では、高い技術を生かして生産するだけでなく、互いに協力してより品質の高い製品をつくりだしていることを理解している。</p> <p>【知・理】</p>

問題を解決する	5	水島コンビナートでの工業生産について調べ、日本の輸出入の特色について調べる。	<p>水島コンビナートのすごいところを見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水島コンビナートでは、石油製品や鉄鋼、自動車など、生活に関係する様々なものがつくられている。</li> <li>水島コンビナートでは、原料やエネルギー資源を輸入し、生産した製品を輸出する加工貿易が行われている。</li> <li>水島コンビナートは、輸入した資源を使って工業製品をつくり、外国へ輸出する加工貿易を行い、世界の国々とつながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水島コンビナートでは、輸入した原料を使って、工業製品を生産し、輸出している。・海沿いに工場地域は広がっているが、どうしてなのだろう。</li> </ul>	<p>日本の工業は、加工貿易によって発展してきたことを理解している。</p> <p>【知・理】</p> <p>貿易によって世界の国々と結びつきがあることについて考え話し合っている。</p> <p>【思・判・表】</p>
	6	日本の工業における運輸の働きについて調べる。	<p>水島港のすごいところを見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水島港は、日本を代表する国際貿易港の一つで、取り扱う貨物の量は、全国でも上位となっている。</li> <li>水島港の近くには、鉄道や高速道路が通っていて、工業製品は、トラックや貨物列車などを使って、国内外に送られている。</li> <li>輸送費や環境への配慮からモーダルシフトが取り入れられている。</li> <li>水島港は、日本を代表する国際貿易港であり、倉敷だけでなく、日本の工業の発展に役立っている。輸送費の軽減や環境への配慮から、船での輸送が増え、港と船の役割が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原料や工業製品の輸送のために、船が多く利用されている。</li> <li>港や船によって、日本の工業は支えられている。</li> <li>貿易によっていろんな国とつながっている。何か問題はないのだろうか。</li> </ul>	<p>産業における海運が、果たしている役割を理解している。</p> <p>【知・理】</p>
	7	貿易による問題点を調べ、話し合う。	<p>貿易によって、どんな問題がおきているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸出国と輸入国との貿易に関する争いのことを貿易まさつという。</li> <li>日本より優れた製品を大量に生産できる国が増えている。</li> <li>世界の国々では、自由に貿易を行い、それぞれの国の産業や交流をさかんに行おうとする動きがある。</li> <li>相手国の人々のくらしや産業、環境をよく理解して、貿易を行っていく必要がある。</li> <li>日本の工業生産は、加工貿易や運輸の働きによって大きく発展したが、貿易まさつが起こるなど、近年では相手国への様々な配慮が必要となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貿易で、相手国と争いが起こることがある。</li> <li>貿易相手国のこともよく理解して、貿易をする必要がある。</li> <li>日本にはたくさん工場があり、その生産によって、私たちのくらしは支えられている。</li> </ul>	<p>貿易まさつや日本の貿易の変化、自由貿易の流れなどの貿易をめぐる問題から、工業生産の発展について、それらの問題による影響や外国との関わりも配慮しながら、考えようとしている。</p> <p>【関・意・態】</p>
働きかける	8	工場で働く人の問題点について調べ、その解決策について考え話し合う。	<p>工場で働いている人は、どんなことを願っているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場で働く人々を守るきまりがつけられているが、女性や障害のある人々、外国人が、不利な扱いを受けるなど、様々な問題がある。</li> <li>働く人たちが働きやすくなるように、様々な取組が行われているが、男女による格差や外国人の労働環境など、様々な人々の願いが実現できるようにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場で働く人々にも様々な問題があるんだな。</li> <li>誰もが働きやすくなるのが、みんなの願いだね。</li> </ul>	<p>女性や、障がいのある人、外国人労働者に関する働く環境について解決すべき問題や、それらを改善する取り組みについて考え、働きやすい職場について話し合っている。</p> <p>【思・判・表】</p>

6 授業案（問題を解決する過程 第6時）

目 標	水島港で取扱う貨物や流通の実態を調べることを通して、工業生産における海運と船と港が果たしている役割を理解することができる。	
学 習 活 動	教師の支援と指導の工夫	児童の意識の流れ
1 水島港について関心をもち、本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの学習を振り返り、日本の工業生産や水島コンビナートで行われている貿易について想起することができるようにする。</li> <li>○ 水島港の写真を提示し、「入港する船の数が全国1位」「取扱貨物量全国7位」などの情報を伝えることで、港や船に関心をもつことができるようにする。</li> <li>○ 「なぜ水島にこれほど大きな港があるのか」と尋ねることで、本時のめあてをつかむことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水島コンビナートでは、様々な国との貿易が行われている。</li> <li>・水島港は、どんな様子なのだろう。</li> </ul>
<b>水島港のすごいところを見つけよう。</b>		
2 水島港のすごいところを予想する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水島港のすごいところを予想することを通して、調べたり考えたりする視点が明らかになるようにする。 【視点の例】 ・水島港の規模・取り扱う貨物の種類と量 ・船の種類・水島港とつながる地域や国</li> <li>○ 予想を板書に位置付け、その後の話し合いで関連付けることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな船が港に入ってくる。</li> <li>・いろいろな国や地域とつながっている。</li> <li>・取り扱う貨物の量が全国でも上位になっている。</li> <li>・運ぶものによって、船がちがう。</li> <li>・工場に直接原料や製品が運べるよう、港と工場がつながっている。</li> <li>・工場で扱う原料や製品は、一度に大量に運ぶ必要があるものばかりになっている。</li> <li>・船で運ぶことで、輸送費が軽減でき、環境にもやさしい。</li> <li>・水島港は、鉄道や高速道路ともつながり、港を通して、世界や日本各地とつながっている。</li> </ul>
3 水島港のすごいところを考え話し合う。 ・一人で ・ペアで ・全体で	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前に「海運と船と港の役割」のワークブックを活用して、テキストの内容を理解しておくようにする。自分の考えを書く際には、テキストやワークブックの内容を参考にするよう伝えておく。</li> <li>○ 一人で考えた後は、ペアで話し合う時間を確保し、互いの考えが交流できるようにする。</li> <li>○ 全体で話し合う際には、予想で明らかにした視点に分けて板書し、水島港のすごさが構造的に捉えることができるようにする。</li> </ul>	
4 船と港の役割について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テキスト「海運と船と港の役割」P.17 日本の貿易量の円グラフを提示し、船や港が果たす役割について考えることができるようにする。</li> <li>○ グループで話し合う時間を設け、ホワイトボードにまとめていく。各グループでまとめたことを全体で話し合い、船が果たす役割について考えることができるようにする。</li> <li>○ 日本が海に囲まれているという地理的条件、水島コンビナートの工場で扱う原料や製品が一度に大量に運ぶ必要性のあるものが多いことなどを取り上げ、船を利用するよさに迫ることができるようにする。</li> <li>○ 自動車だけの輸送から、船や鉄道を組み合わせて貨物を輸送する「モーダルシフト」が取り入れられていることに触れ、環境や輸送費の軽減に配慮した輸送方法が進められていることを捉えることができるようにする。</li> <li>○ 水島港の近くに鉄道や高速道路が通っていることを確認し、港を中心とした交通の便のよさにも気付かせたい。</li> <li>○ 本時の学習を整理し、学習内容をまとめる。</li> </ul>	
5 本時のまとめをする。	<b>水島港は、日本を代表する国際貿易港であり、倉敷だけでなく、日本の工業の発展に役立っている。輸送費の軽減や環境への配慮から、船での輸送が増え、港と船の役割が高まっている。</b>	
6 本時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水島港について興味をもったことやもっと詳しく調べてみたいことなどを書くことで、次時の学習への意欲・関心が高まるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水島港についてもっと調べたくなった。</li> </ul>
評 価	工業生産における海運と船と港が果たしている役割を理解している。（知識・理解）	